

平成29年度 学校自己評価システムシート (県立幸手桜高等学校 全日制の課程)

目指す学校像
夢を語る学校・・・卒業後の進路を明確にし、学ぶ意義を理解させる学校
感謝を学ぶ学校・・・地域との連携による体験学習を通じ、人の役に立つ尊さを学ぶ学校
使命感をもって巣立つ学校・・・社会に貢献できる有為な人材を育成する学校

重点目標
1 将来への明確な目標を持ち、その達成に向け主体的な努力ができる生徒を育成する。目標達成のための、三年間を見通した教育計画を実行する。
2 広報活動をさらに充実させるとともに、進路実績や地域連携など様々な教育活動の情報提供に努める。
3 きめ細かな学習指導を充実させるとともに、資格取得の奨励や進学支援等を通じて生徒の自信を深める。
4 規範意識を高め、落ち着いた学習環境、高め合う学習集団の形成に努めるとともに、部活動の活性化を図る。

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。 重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の項目と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度
A ほぼ達成 (8割以上)
B 概ね達成 (6割以上)
C 変化の兆し (4割以上)
D 不十分 (4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者 学校関係者 5名
生徒 3名
事務局(教職員) 8名

Table with 8 columns: 番号, 現状と課題, 評価項目, 具体的方策, 方策の評価指標, 評価項目の達成状況, 達成度, 次年度への課題と改善策. It contains detailed evaluation data for three categories (1, 2, 3) across various school activities and goals.

